









# 仮設プレハブリース

件名	仮設プレハブリース					図面番号	1/15
図名	表紙					縮尺	—
業務隊長	管理科長	当班班長	施設管理	管財	給排水係長	電気係長	設計者
							
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊						令和6年3月29日	

# 仕 様 書

1 件 名 仮設プレハブリース

2 設置場所 陸上自衛隊湯布院駐屯地  
大分県由布市湯布院町川上941

3 リース期間

- 令和6年度 : 令和7年2月3日～令和7年3月31日 (本役務)
- 令和7年度 : 令和7年4月1日～令和8年3月31日 (別途契約)
- 令和8年度 : 令和8年4月1日～令和9年3月31日 (別途契約)
- 令和9年度 : 令和9年4月1日～令和10年3月31日 (別途契約)
- 令和10年度 : 令和10年4月1日～令和10年4月30日 (別途契約)

4 設置・解体期限

- 令和6年度 : 令和7年1月31日までに設置 (本契約)
- 令和10年度 : 令和10年6月30日までに解体 (別途契約)

5 設置概要

- プレハブ (居室)  
ブレース構造 3階建て 1棟 (2,471㎡程度)
- プレハブ (事務室)  
ブレース構造 3階建て 1棟 (2,205㎡程度)
- プレハブ (倉庫)  
ブレース構造 1階建て 1棟 (224㎡程度)
- 屋内外付帯設備  
電気、通信、消防、機械設備及び備品等一式
- 外構工事
- その他

- ア 仮設許可申請手続き  
イ 建築基準法上の計画通知手続き  
ウ 消防等官公庁への諸手続き  
※ 各種手続きにおいて必要となる諸経費は請負者負担とする。

6 解体概要

- プレハブ (居室) 解体・撤去
- プレハブ (事務室) 解体・撤去
- プレハブ (倉庫) 解体・撤去
- 屋内外付帯設備撤去・復旧
- 外構撤去・復旧
- 解体に係る各種手続き

7 一般事項

- 本役務は、本仕様書によるほか国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築 (改修) 工事標準仕様書 (建築工事編、機械設備工事編、電気設備工事編)、建築改修工事監理指針」、メーカー仕様、並びに関係諸法規によるものとする。
- 請負者は作業範囲をバリケード等で囲い、立ち入り禁止の表示をする。なお、作業にあたっては火災予防、安全管理に十分注意を払うものとし、請負者の責任において万全な対策を講じるものとする。
- 本役務において、既存施設等に損傷を与えた場合は請負者の負担において速やかに原状に復旧させるものとする。
- 本仕様書に記載なき事項といえども、技術上当然実施すべき事項については、請負者の負担において実施するものとする。
- 請負者は、契約後速やかに係官とスケジュール等の打ち合わせを行い、工程表を提出するものとする。
- 本仕様書及び現地の状況を基に請負者において承認図 (設計図書) を作成し、あらかじめ係官の承認を得たのちに、各種申請等の手続きを行うものとする。
- 本仕様書及び作業に際し、疑義を生じた場合は、係官と協議のうえ実施するものとする。
- 本役務の写真は、施工前・施工中・施工後の他、係官の指示する箇所を撮影し、工事写真帳 (A4タテ) に整理して提出するものとする。
- 本役務において必要な電力及び給水等は、請負者にて準備することを基本とする。
- 作業可能日は平日を基本とするが、やむを得ず休日作業が必要となった際は事前に係官と調整を行うものとする。
- 一日の作業終了時は、現場の清掃及び整理整頓、片付けを実施するものとする。

- 本役務で生じた産業廃棄物は、請負者の責任において関係諸法令に基づき適正に処分するものとする。なお、掘削残土は、設置の際に埋め戻しで使用するものは現場仮置きとし、それ以外は産業廃棄物と同様に適正に処分するものとする。
- 請負者は、作業において駐屯地内に入出入りする者を取りまとめ、事前に作業員名簿を提出するものとする。

8 特記事項

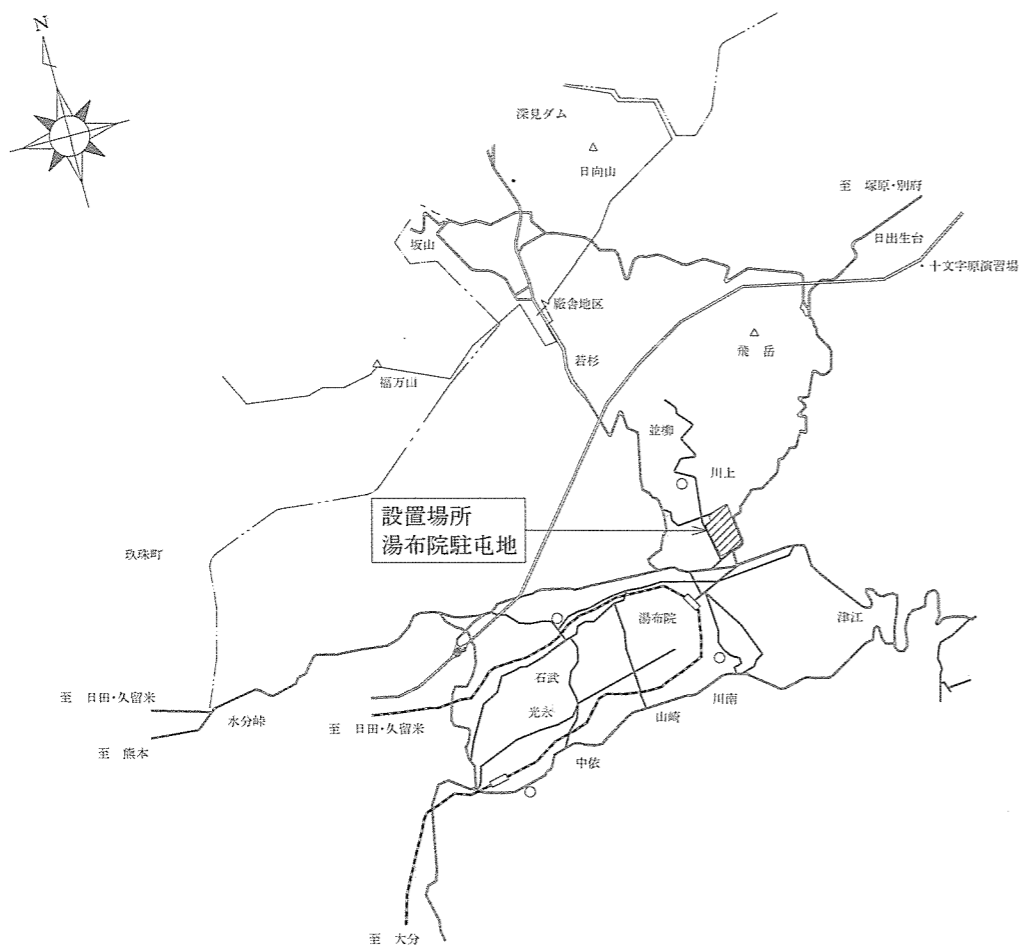
- プレハブは、各メーカーの仕様によるリース品とし、外壁パネルは新品とする。
- プレハブの基礎は、本仕様書 (15/15) の「ボーリング柱状図」 (R6.2.17) を基に建築基準法を満たす構造とする。
- 掘削において、破碎作業を行わなければ取り除けない大規模の岩が発生した場合は、係官及び契約担当官と調整し、契約変更手続きを行うものとする。
- 各種設備は、国交省における建築設備設計基準を満たすものとする。
- 作業に伴い駐屯地内の停電が必要な場合は、あらかじめ係官と日程を調整し、部隊運用に支障のない日を選定すること。日程が決まり次第、停電計画書を提出し係官の承認を得るものとする。
- 給水配管接続箇所については、不断水分岐にて接続するものとする。
- 汚水配管を既設配管に接続する際に、既存施設の汚水排水を停止する必要がある場合は、あらかじめ係官と日時を調整し、必要最低限の時間内で行うものとする。
- 必要な消防設備は以下のとおりとする。

番号	種 別	令別表第1項	収容人員	消火設備
①	プレハブ (居室)	(5) 口	1F 44名 2F 48名 3F 48名	自動火災報知設備、屋内消火栓設備 (パッケージ型消火設備)、消火器、誘導標識、避難器具
②	プレハブ (事務室)	(15)	1F 38名 2F 31名 3F 98名	自動火災報知設備、屋内消火栓設備 (パッケージ型消火設備)、消火器、誘導標識
③	プレハブ (倉庫)	(14)	—	消火器、誘導標識

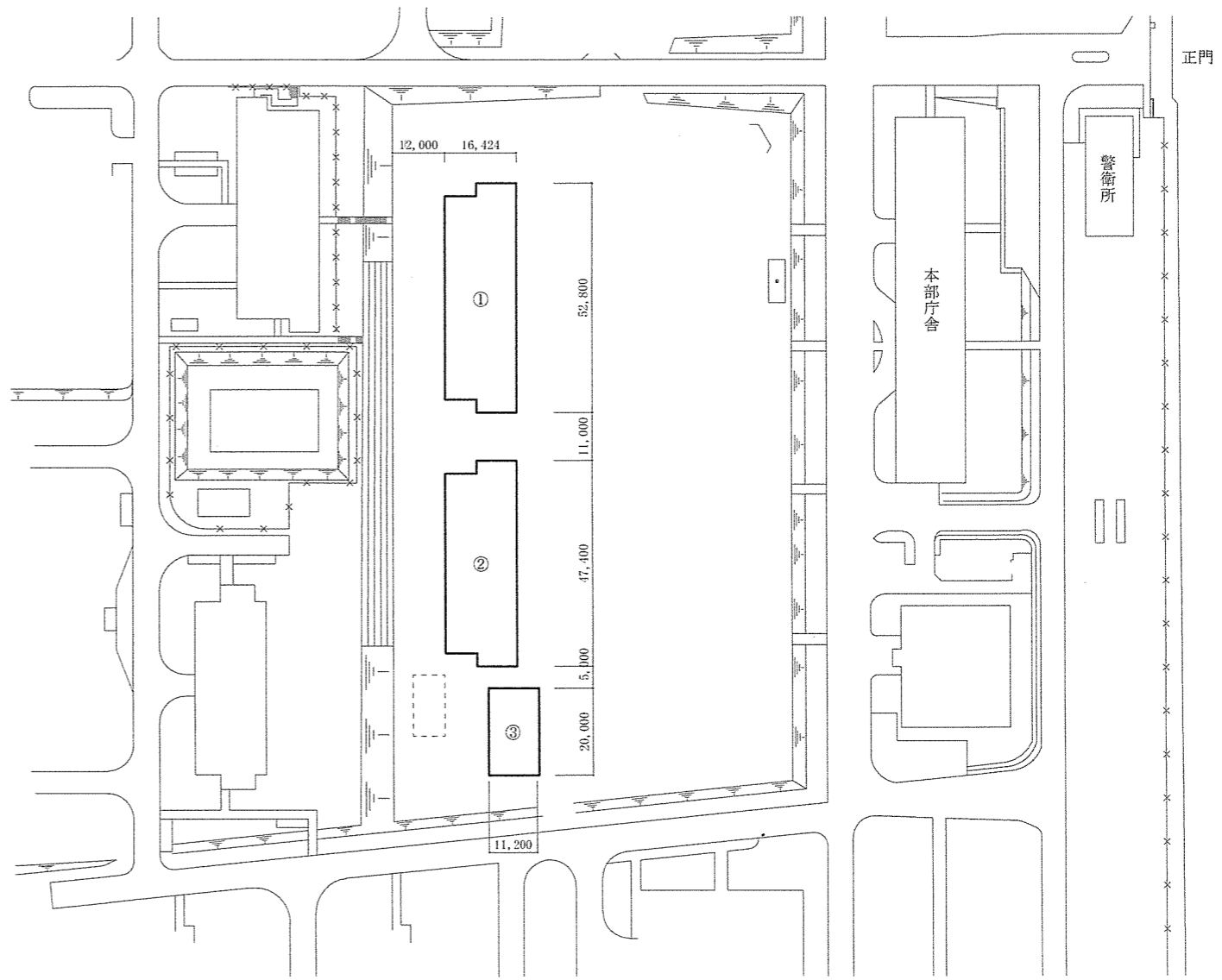
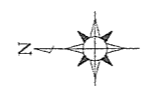
- ※ 収容人員は最大人員数とする。  
建具の配置は建築図を標準とするが、無窓階とならないよう計画するものとする。

- 各種申請等手続きにおいて、本仕様書に記載なき事項について行政指導を受けた場合は、係官及び契約担当官と調整し、契約変更手続きを行った上、行政指導に基づき実施するものとする。  
なお、仮設許可申請については、建築基準法第85条に基づき許可を受け、建築基準法第27条の適応除外を受けること。
- 引き渡しに際し、使用者の代表に当該物件の主要な設備等について、取り扱い説明を行い、併せて取扱説明書、付属品等及び鍵、鍵箱の引き渡しを実施するものとする。
- リース期間中の使用者側の取り扱い不備以外に起因する故障 (照明の球切れ含む) については、請負者の負担にて速やかに修理するものとする。
- リース期間中の各種法定点検については請負者において実施するものとし、届出要領等については担当行政機関の指示によるものとする。
- リース期間終了後、解体において基礎を撤去した後は、購入土で埋め戻し整地するものとする。その他外部付帯設備、外構においても原状回復を原則とする。

件名	仮設プレハブリース	図面番号	2/15
図名	仕様書	縮尺	図示
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊		令和6年3月29日	



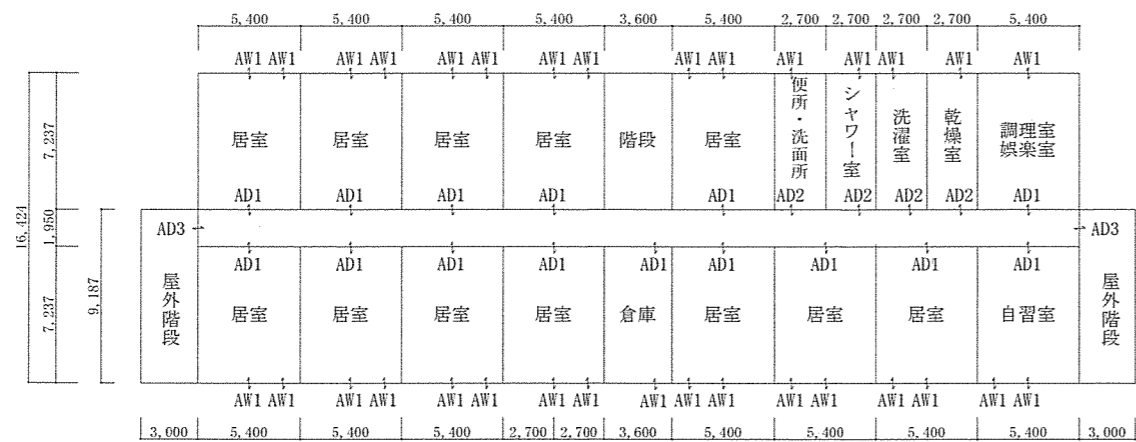
案内図 S = NS



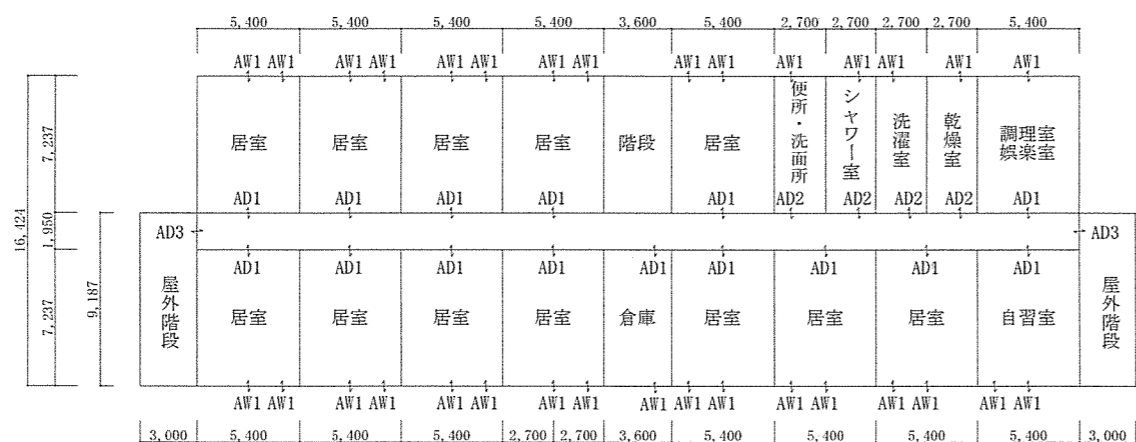
- ①: プレハブ (居室) 3階建て
- ②: プレハブ (事務室) 3階建て
- ③: プレハブ (倉庫) 1階建て

配置図 S=1:1,500

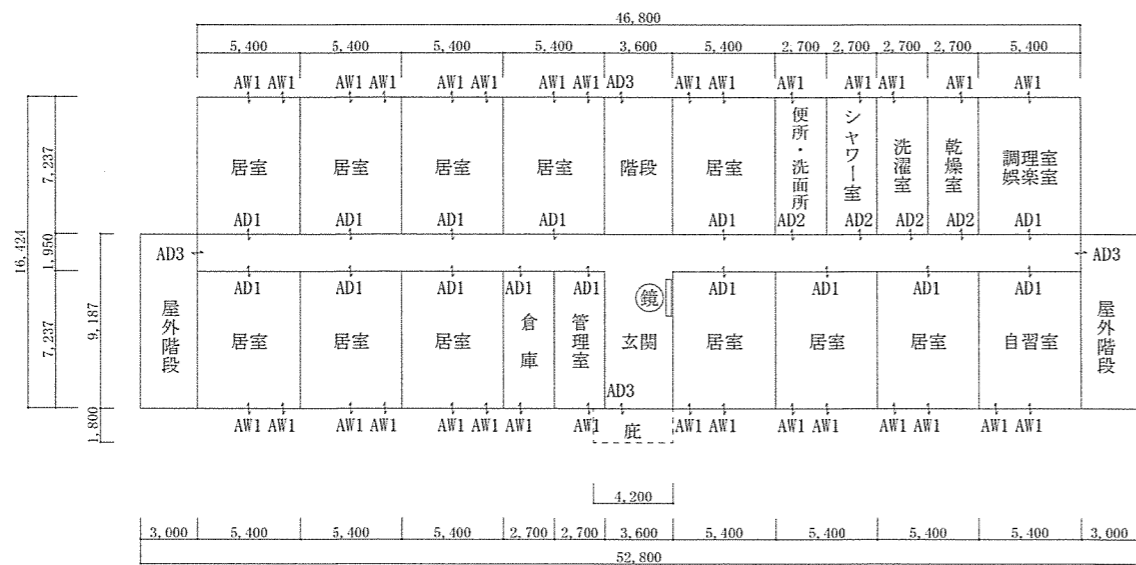
件名	仮設プレハブリース	図面番号	3/15
図名	案内図・配置図	縮尺	図示
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊		令和6年3月29日	



3階平面図



2階平面図



1階平面図

■ 建物面積

建築面積	827.13 m <sup>2</sup>
1階床面積	823.77 m <sup>2</sup>
延べ床面積	2,471.30 m <sup>2</sup>

■ 外部仕様

名称	仕様	色
屋根	仕上:金属折板 t=0.5 (二重折版) (不燃NM-8697) 断熱材:発砲ポリエチレンフォーム t=4	シルバー
庇	正面玄関 : W=4,200 D=1,800 北側出入口 : W=2,200 D=1,200	-
雨樋	軒樋:鋼板t=1.6+塗装 縦樋:ユニットハウスの仕様にする	Vハネ色
外壁(複合ハネ)	外部仕上:カラー鋼板t=0.27 (不燃NM-8697) 断熱材:スチレンフォームt=25	Vハネ色
塗装	内部仕上:カラー鋼板t=0.27 (不燃NM-8697) 鉄部見え掛かり:錆止め 一液型エポキシ樹脂下塗り塗装	-
外部階段	コンクリート基礎、手すり、屋根(昇降部・踊り場)	-

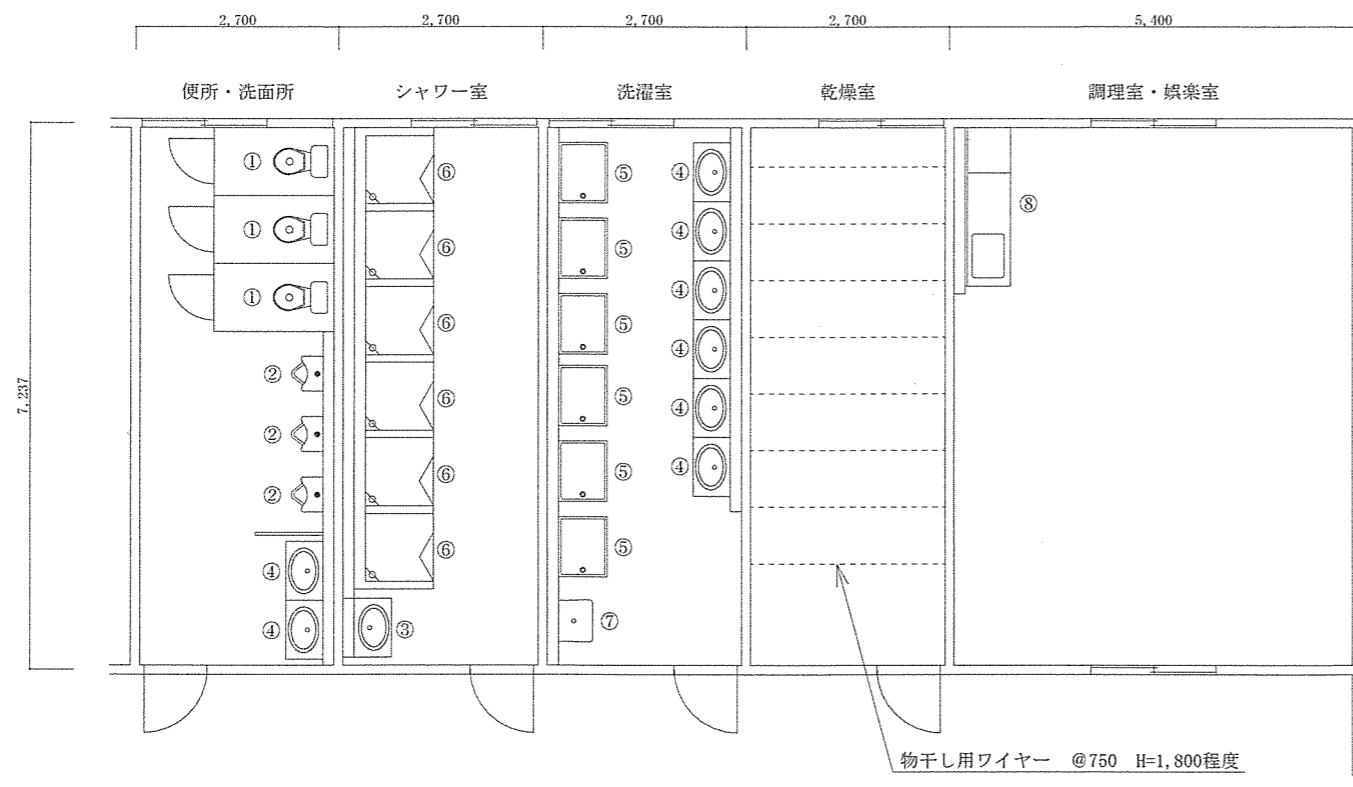
■ 内部仕様

室名	床 (フローリング・木床・合板t12)	巾木	壁(LGS)		天井(LGS)	天井高
			界壁	内壁		
居室	タイルカーペット	ソフト巾木 H=100	ビニルクロス貼り 石膏ボード (t15+9.5)	ビニルクロス貼り 石膏ボード (t12.5)	化粧石膏ボード t9.5	2,600
管理室	ラワン合板 t4					
自習室						
調理室 娯楽室						
乾燥室						
洗濯室	長尺塩ビシートt2 ラワン合板 t4	ソフト巾木 H=100	ビニルクロス貼り 耐水石膏ボード(t12.5)	ビニルクロス貼り 石膏ボード(t12.5)	化粧石膏ボード t9.5	2,250
シャワー室						
便所・洗面所						
倉庫	長尺塩ビシートt2 ラワン合板 t4	ソフト巾木 H=100	ビニルクロス貼り 石膏ボード (t15+9.5)	ビニルクロス貼り 石膏ボード (t12.5)	化粧石膏ボード t9.5	2,400
玄関・廊下						

※ シックハウス対象居室の内装材は全てF☆☆☆☆仕様とする。(クロス接着剤・仕上塗料・家具類・建具共) なお、内装仕上げ材は全て新品とする。

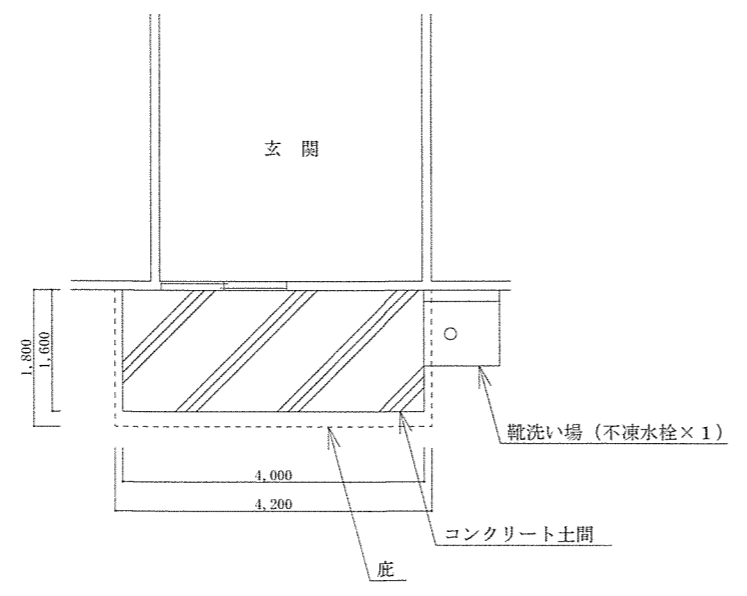
■ その他

出入口建具	AD1	アルミ引き違い戸 (W1673×H1,992程度、上部ガラス、下部アルミハネ、シリンダー錠)
	AD2	アルミ製片開き扉 (W835×H1,992程度、上部ガラス、下部アルミハネ、シリンダー錠、ドアチェック)
	AD3	アルミ製両開き扉 (W1673×H1,992程度、上部ガラス、下部アルミハネ、シリンダー錠、ドアチェック)
窓	AW1	アルミ製引き違い窓 (W1673×H818程度、クレセント錠、網戸)
ガラス(外部)	透明ガラス:居室、管理室、自習室、調理室娯楽室、倉庫、玄関・廊下 すりガラス:乾燥室、洗濯室、シャワー室、便所・洗面所	
ガラス(内部)	全てすりガラス	
カーテン	居室、管理室、自習室、調理室娯楽室、倉庫(遮光タイプ)	
姿見鏡	正面玄関の壁面に取り付け (W600×H1600程度)	
室名札	各室出入口へ設置	
画棧	居室、管理室、自習室、調理室娯楽室の内壁三方(外部に面する壁を除く) 及び玄関・廊下全面(H=1,750)	
帽子掛け	居室の出入口付近へ各4個設置(廊下側の画棧を使用)	
点検用はしご	屋根上設備点検用	
靴洗い場	正面玄関外部に1箇所	



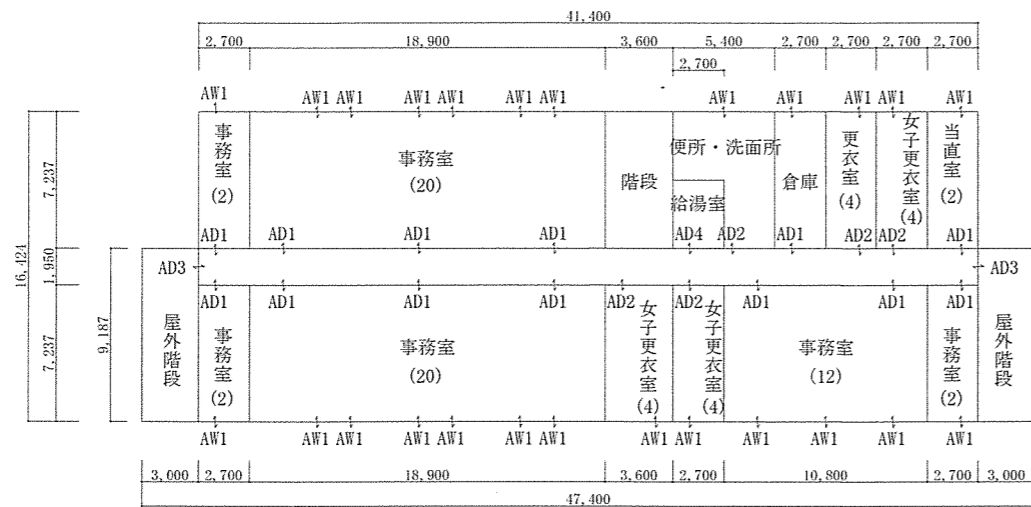
- 凡例 (標準)
- ① ロータンク方式洋式大便器 (電源式ウォシュレット)
  - ② ストール型小便器 (電池式自動水栓)
  - ③ 化粧洗面台 (コンセント付き)
  - ④ 洗面器 (正面壁に化粧鏡取付)
  - ⑤ 洗濯器パン (800×650程度)
  - ⑥ シャワーユニット
  - ⑦ 掃除流し
  - ⑧ シンク (W=1,500) ・コンロ台 (W=600付き)
- ※ 給湯は、屋外にエコキュートを設置する。

水廻り詳細図

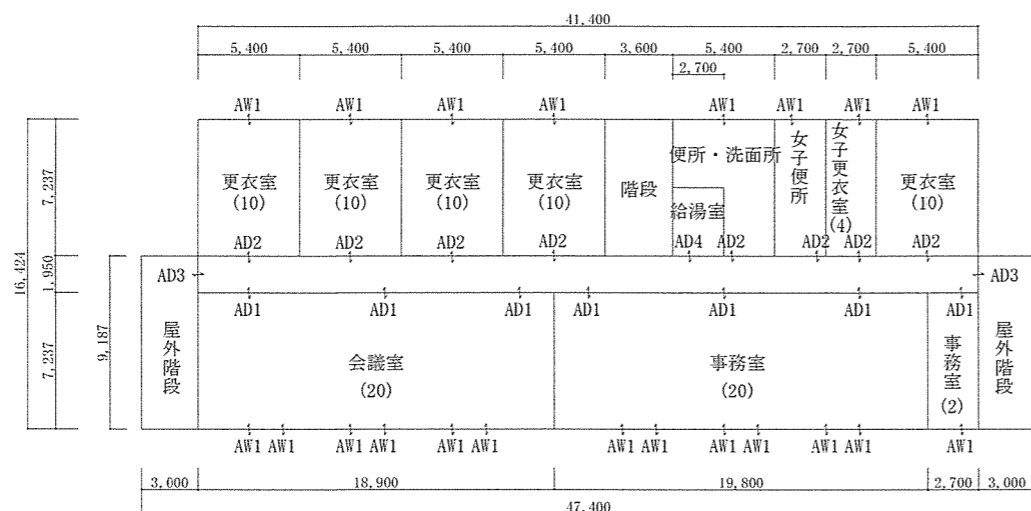


玄関詳細図

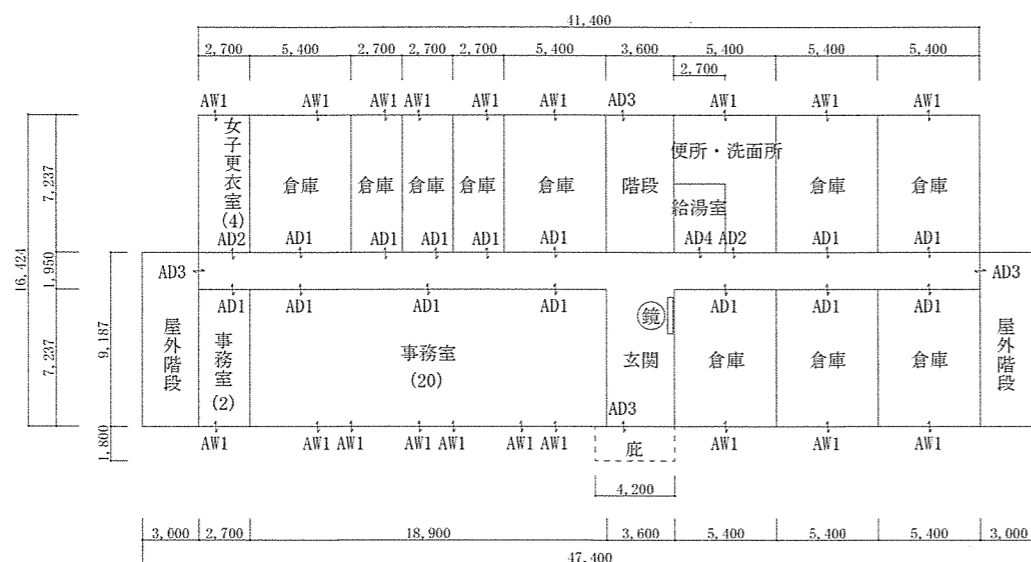
件名	仮設プレハブリース	図面番号	5/15
図名	①標準水廻り・玄関詳細図 (居室)	縮尺	1:100
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊		令和6年3月29日	



3階平面図



2階平面図



1階平面図

■ 建物面積

建築面積	738.45 m <sup>2</sup>
1階床面積	735.08 m <sup>2</sup>
延べ床面積	2,205.23 m <sup>2</sup>

■ 外部仕様

名称	仕様	色
屋根	仕上:金属折板 t=0.5 (二重折板) (不燃NM-8697) 断熱材:発砲ポリエチレンフォーム t=4	シルバー
庇	正面玄関 : W=4,200 D=1,800 北側出入口 : W=2,200 D=1,200	-
雨樋	軒樋:鋼板t=1.6+塗装 縦樋:ユニットハウスの仕様に準じる	Vハネル色
外壁(複合パネル)	外部仕上:カラー鋼板t=0.27 (不燃NM-8697) 断熱材:スチレンフォームt=25 内部仕上:カラー鋼板t=0.27 (不燃NM-8697)	Vハネル色
塗装	鉄部見え掛かり:錆止め 一液型エポキシ樹脂下塗り塗装	-

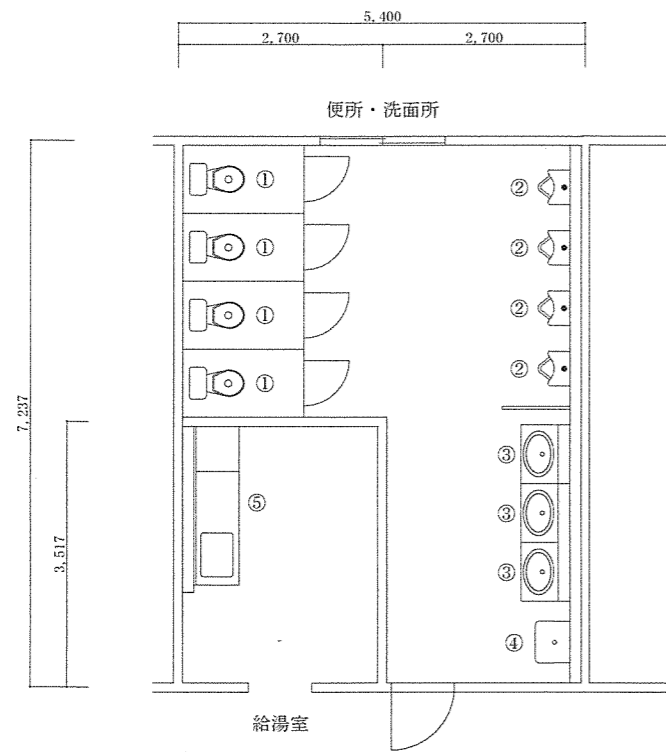
■ 内部仕様

室名	床 (フローリング・木床・合板t12)	巾木	壁(LGS)		天井(LGS)	天井高
			界壁	内壁		
事務室	タイルカーペット ラワン合板 t4	ソフト巾木 H=100	ビニルクロス貼り 石膏ボード (t15+9.5)	ビニルクロス貼り 石膏ボード (t12.5)	化粧石膏ボード t9.5	2,600
更衣室						
会議室						
当直室						
倉庫	(床パネル・木床・ 塗装コンパネt12)	-	パネルあらし		化粧石膏ボード t9.5	2,600
便所・洗面所	長尺塩ビシートt2 ラワン合板 t4	ソフト巾木 H=100	ビニルクロス貼り 耐水石膏ボード(t12.5) 水廻り:化粧ケイカル板(t6)		化粧石膏ボード t9.5	2,250
給湯室						
玄関・廊下	長尺塩ビシートt2 ラワン合板 t4	ソフト巾木 H=100	ビニルクロス貼り 石膏ボード (t15+9.5)	ビニルクロス貼り 石膏ボード (t12.5)	化粧石膏ボード t9.5	2,400

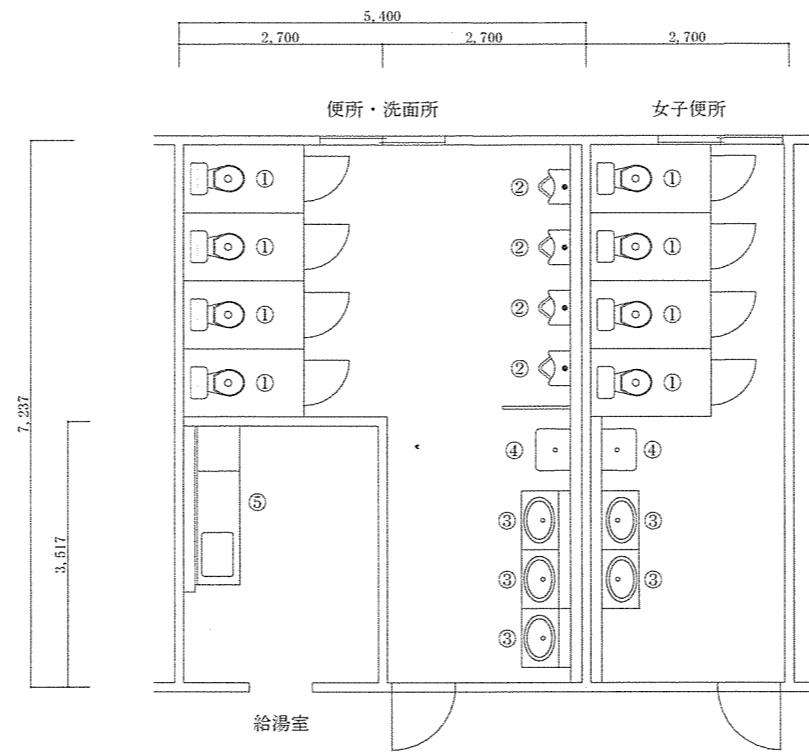
※ シックハウス対象居室の内装材は全てF☆☆☆☆仕様とする。(クロス接着剤・仕上塗料・家具類・建具共)なお、内装仕上げ材は全て新品とする。

■ その他

出入口建具	AD1 アルミ引き違い戸 (W1673×H1,992程度、上部ガラス、下部アルミパネル、シリンダー錠)
	AD2 アルミ製片開き扉 (W835×H1,992程度、上下アルミパネル、シリンダー錠、ドアチェック)
	AD3 アルミ製両開き扉 (W1673×H1,992程度、上部ガラス、下部アルミパネル、シリンダー錠、ドアチェック)
	AD4 扉なし(開口部枠のみ)
窓	AW1 アルミ引き違い窓 (W1673×H818程度、クレセント錠、網戸)
ガラス(外部)	透明ガラス:事務室、会議室、倉庫、玄関・廊下 すりガラス:更衣室、便所・洗面所
ガラス(内部)	全てすりガラス
ブラインド	事務室、更衣室、会議室、当直室
姿見鏡	正面玄関の壁面に取り付け (W600×H1600程度)
室名札	各室出入口へ設置
画機	事務室、会議室、当直室の内壁三方(外部に面する壁を除く)及び玄関・廊下 全面(H=1,750)
帽子掛け	事務室、更衣室、会議室、当直室の出入口付近へ設置(廊下側の画機を使用) ※ 数は部屋名の下に( )で記載、細部設置場所は打ち合わせによる
点検用はしご	屋根上設備点検用
靴洗い場	正面玄関外部に1箇所

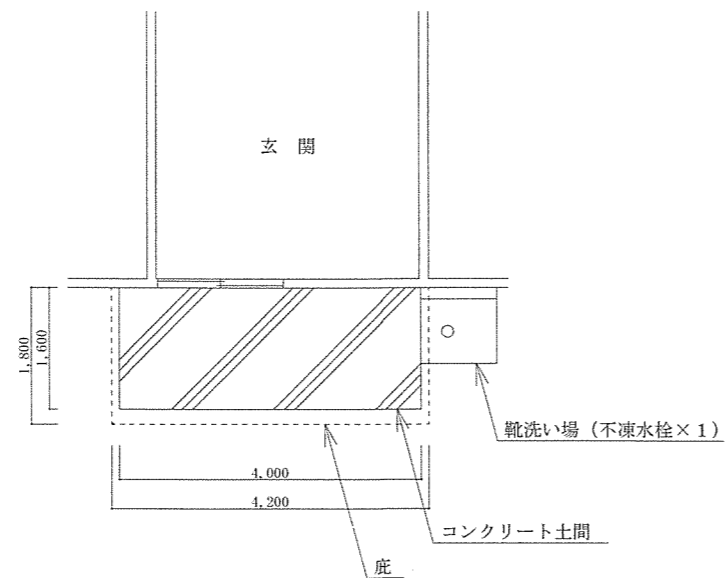


水廻り詳細図(1・3階)



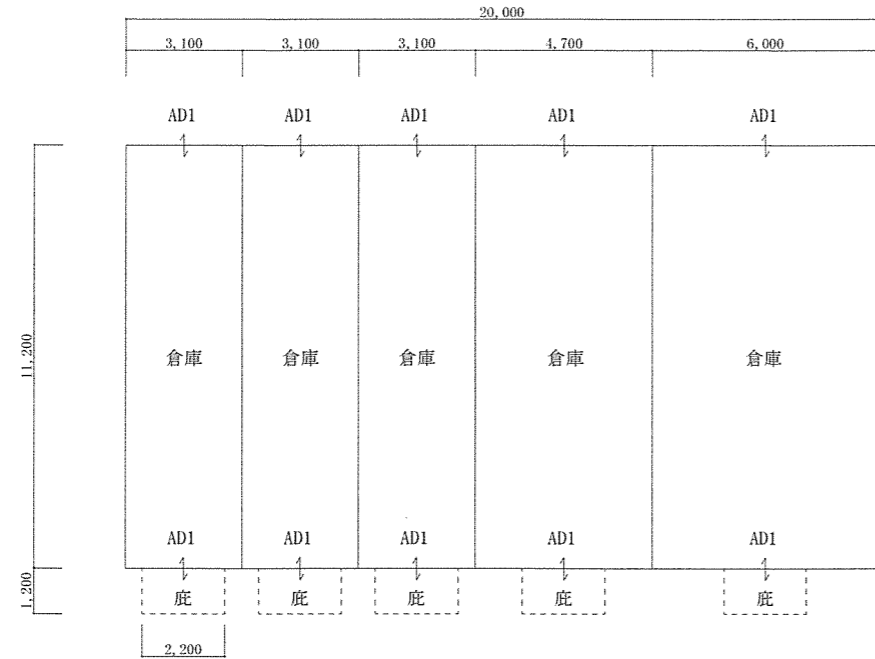
水廻り詳細図(2階)

- 凡例 (標準)
- ① ロータンク方式洋式大便器 (電源式ウォシュレット)
  - ② ストール型小便器 (電池式自動水栓)
  - ③ 洗面器 (正面壁に化粧鏡取付)
  - ④ 掃除流し
  - ⑤ シンク (W=1,500) ・コンロ台 (W=600付き)
- ※ 給湯は、屋外にエコキュートを設置する。

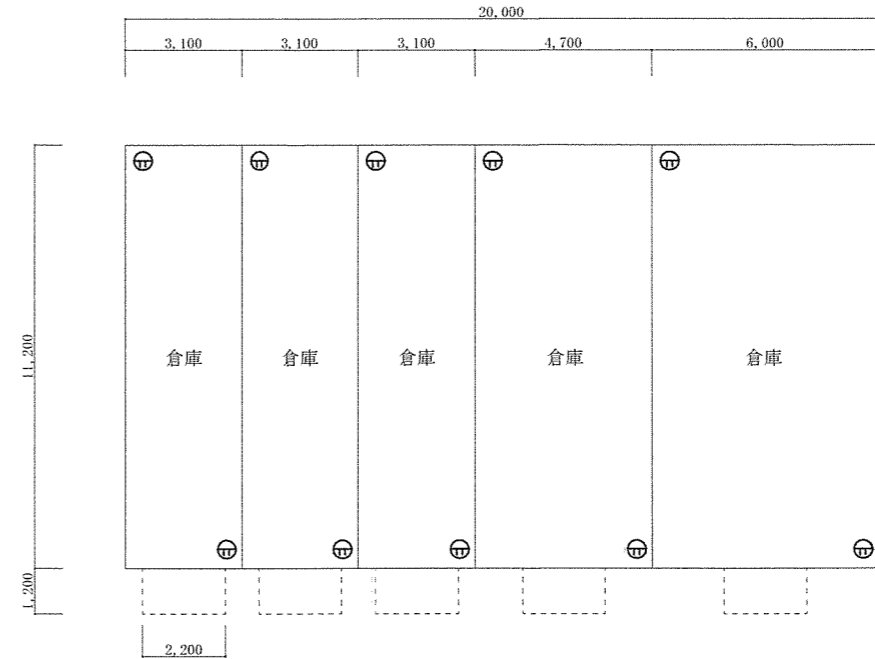


玄関詳細図

件名	仮設プレハブリース	図面番号	7/15
図名	②標準水廻り・玄関詳細(事務室)	縮尺	1:100
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊		令和6年3月29日	



倉庫建築図



倉庫設備図

■ 建物面積

建築面積	226.20 m <sup>2</sup>
1階床面積	224.00 m <sup>2</sup>
延べ床面積	224.00 m <sup>2</sup>

■ 外部仕様

名称	仕様	色
屋根	仕上:金属折板 t=0.5 (不燃NM-8697) 断熱材:スチレンフォーム t=25	シルバー
庇	W=2,200 D=1,200 程度	-
雨樋	軒樋:鋼板t=1.6+塗装 縦樋:ユニットハウスの仕様に準じる	Vハ° 緑色
外壁(複合ハ° 緑)	外部仕上:カラー鋼板t=0.27 (不燃NM-8697) 断熱材:スチレンフォームt=25	Vハ° 緑色
塗装	内部仕上:カラー鋼板t=0.27 (不燃NM-8697) 鉄部見え掛かり:錆止め 一液型エポキシ樹脂下塗り塗装	Vハ° 緑色

■ 内部仕様

室名	床	巾木	壁	天井	天井高
倉庫	土間コンクリート t=120	-	ハ° 緑あらかし	-	3,000

■ その他

出入口建具	AD1	アルミ製両開き扉 (W1673×H1,992程度、上部ガラス、下部アルミハ° 緑、シリンダー錠、トアフェック)
ガラス		すりガラス
室名札		北側出入口中央・平付け

■ 凡例

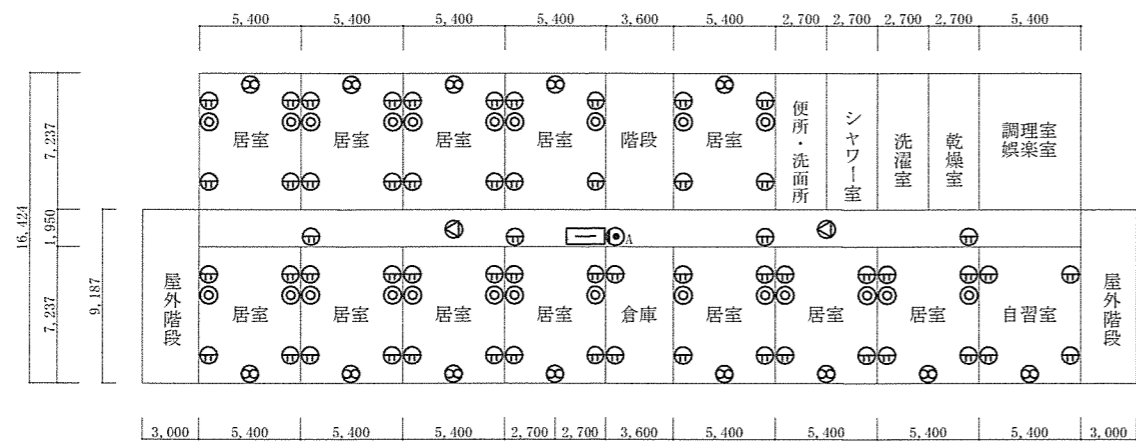
⊕	コンセント
---	-------

■ その他

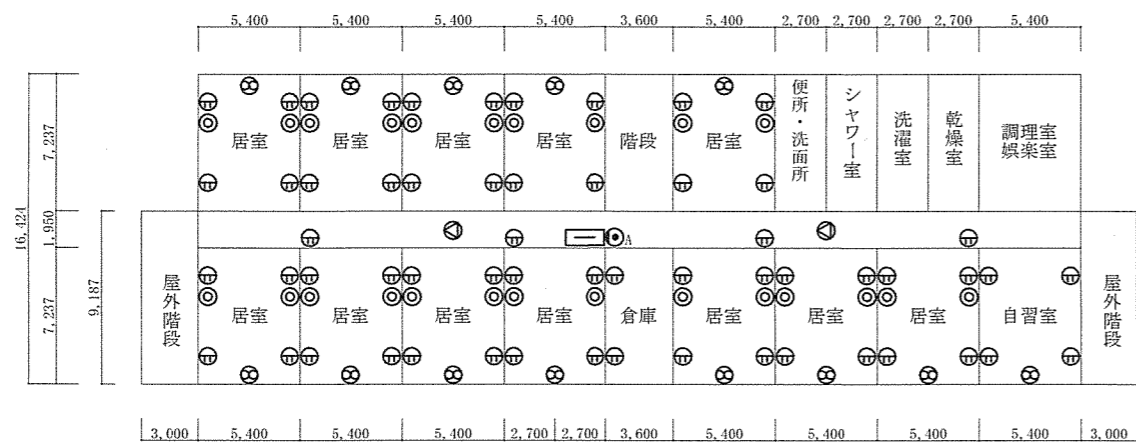
- (1) 照明設備  
必要な照度が確保できるよう照明器具を配置する。
- (2) 各種配線、配管等  
露出配線となる部分は、メタルモール等により納まり良く仕上げること。

件名	仮設プレハブリース	図面番号	8/15
図名	③標準建築・設備平面図(倉庫)	縮尺	図示
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊		令和6年3月29日	

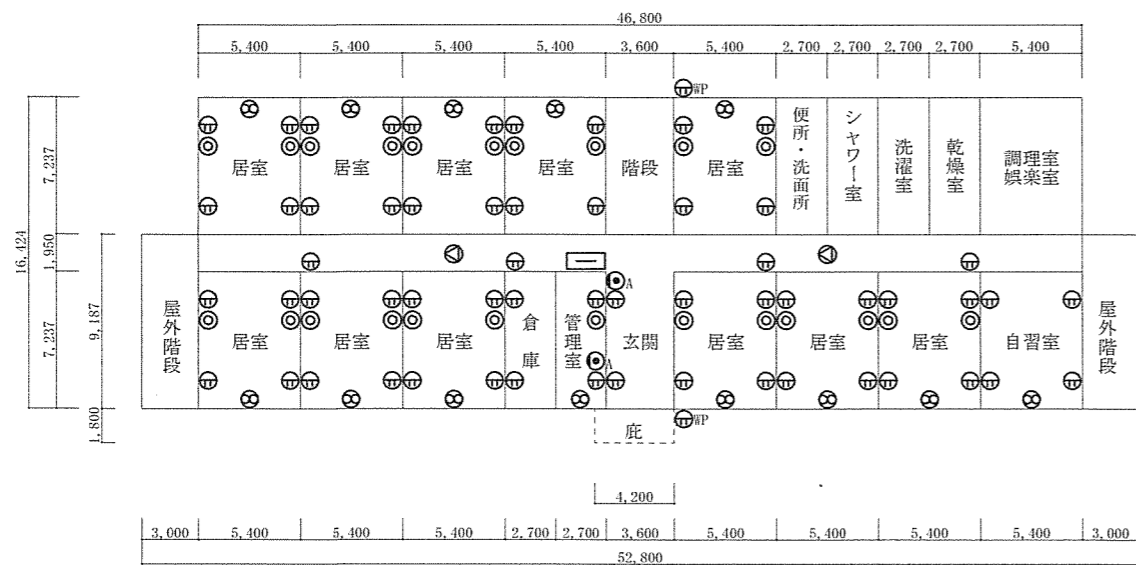




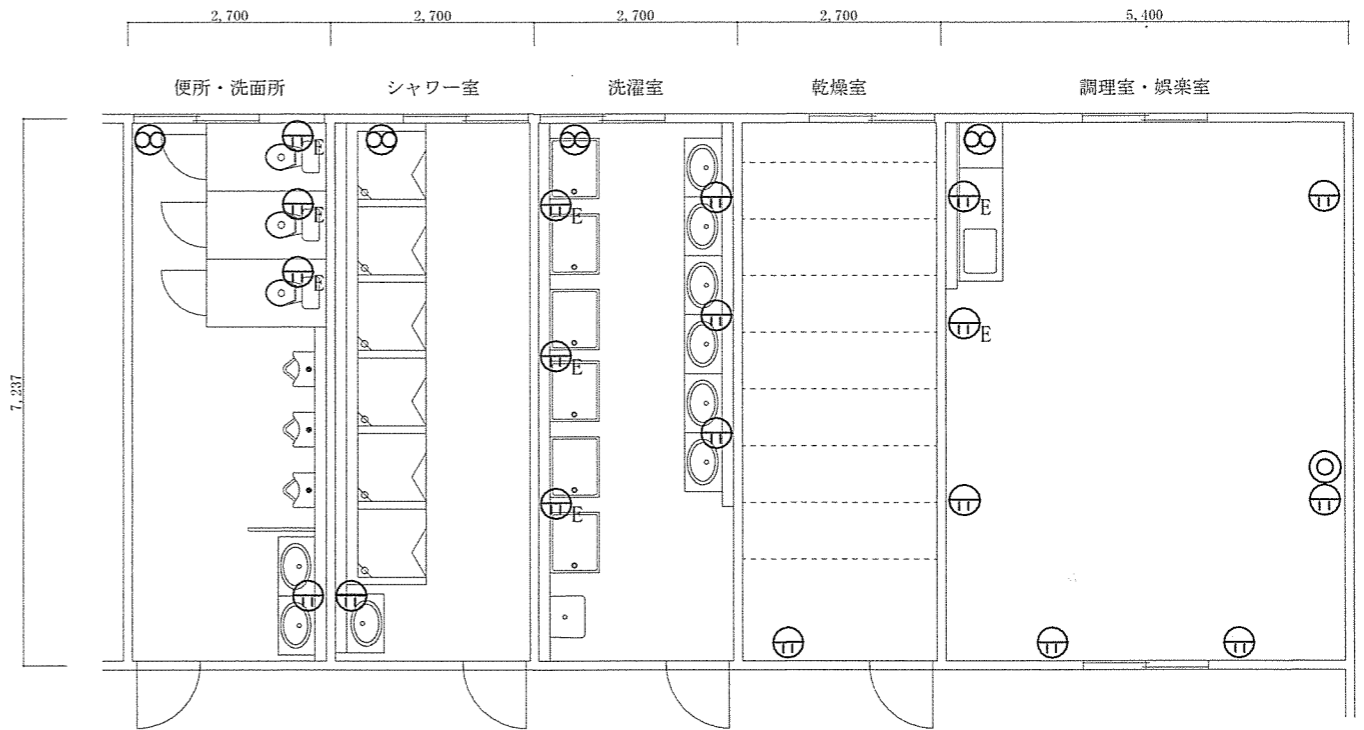
3階設備図 S=1:400



2階設備図 S=1:400



1階設備図 S=1:400



水廻り設備詳細図 S=1:100

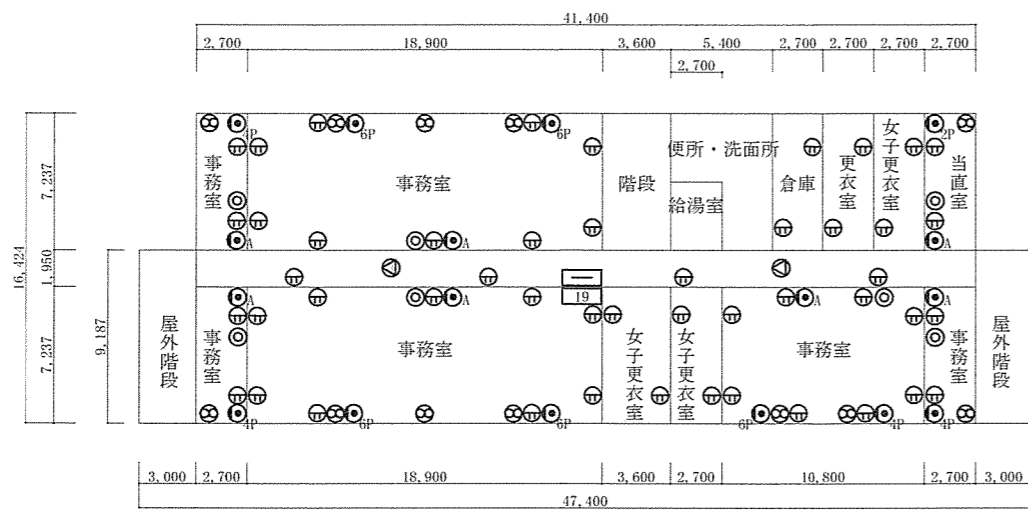
■ 凡例

⊕	コンセント	⊙	スピーカー	⊙ <sub>A</sub>	電話用アクトレット(アナログ)
⊕ <sub>WP</sub>	屋外防水コンセント	⊙	テレビ用アクトレット	⊙	電話・システム用アクトレット(IP)
⊕ <sub>E</sub>	アース付きコンセント	⊞	電話端子盤		
⊗	換気扇(コンセント含む)	19	19インチラック(12U)		

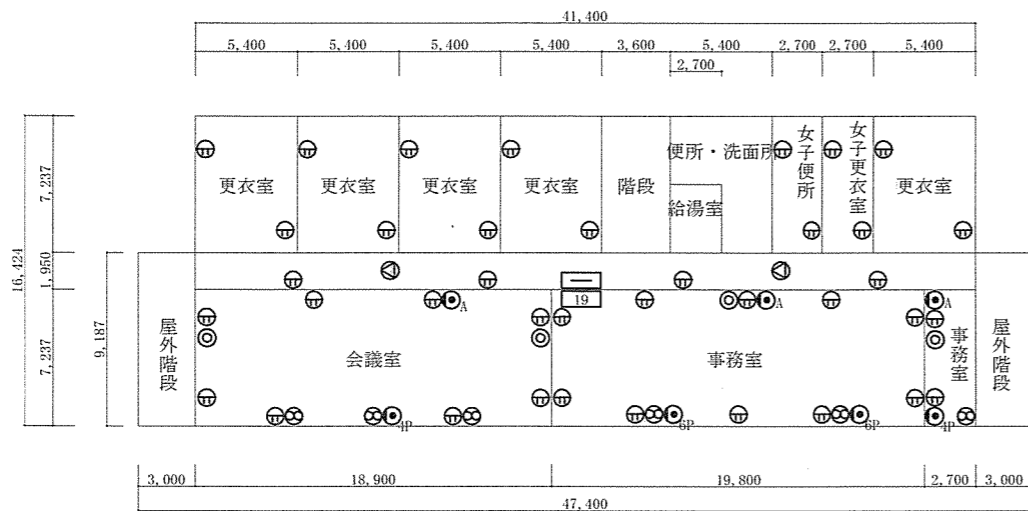
■ その他

- (1) 照明設備  
必要な照度が確保できるよう照明器具を配置する。また、居室はプルスイッチ付き照明器具とし、階段灯は3路スイッチとする。
- (2) 空調設備  
各室の空調設備は必要に応じた能力の機器を設置するものとする。  
居室、管理室、自習室、調理室・娯楽室は、冷暖房空調機を、便所・洗面所及びシャワー室はパネルヒーターを、乾燥室は除湿機能付き冷暖房空調機を設置する。  
なお、空調設備用コンセントは左図によらず、別途設けることとする。
- (3) テレビ共聴設備  
電波を受信できる位置に地デジアンテナを設置し、各室のテレビ用アクトレットで問題なく視聴できることを確認すること。
- (4) 電話設備  
各階の電話端子盤は、壁面取付(10P)とする。
- (5) 各種配線、配管等  
露出配線となる部分は、メタルモール等により納まり良く仕上げること。

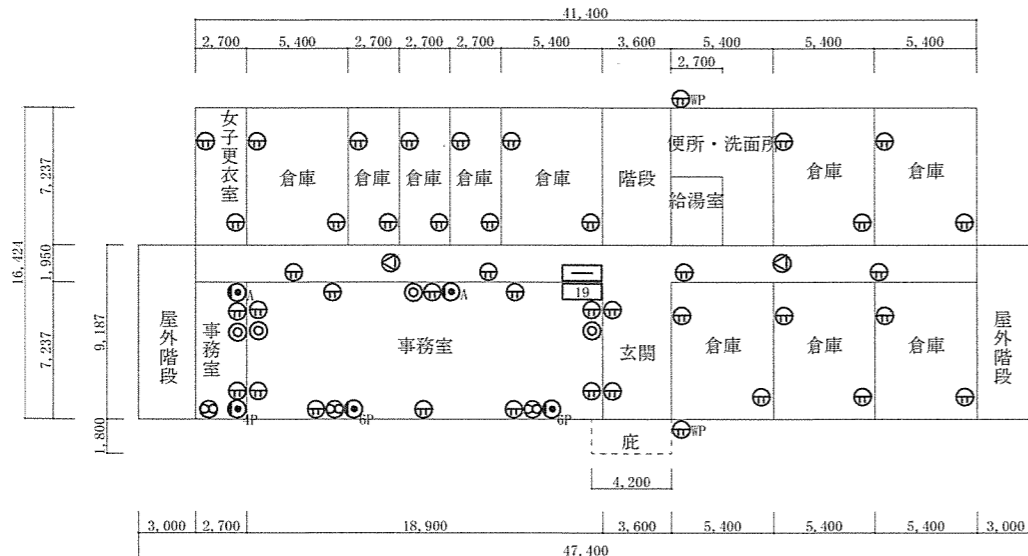
件名	仮設プレハブリース	図面番号	9/15
図名	①標準設備図(居室)	縮尺	図示
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊		令和6年3月29日	



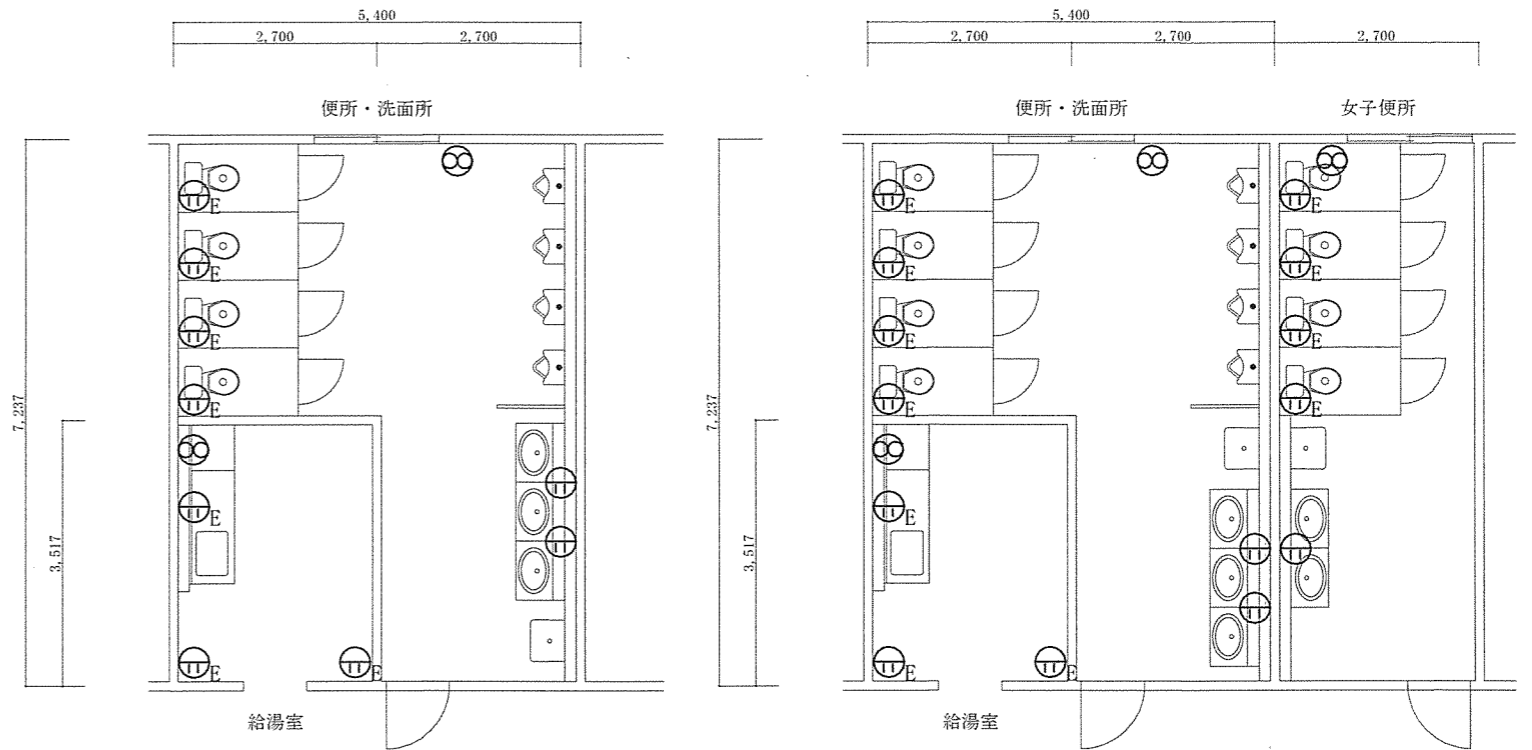
3階設備図 S=1:400



2階設備図 S=1:400



1階設備図 S=1:400



水廻り詳細図(1・3階)

水廻り詳細図(2階)

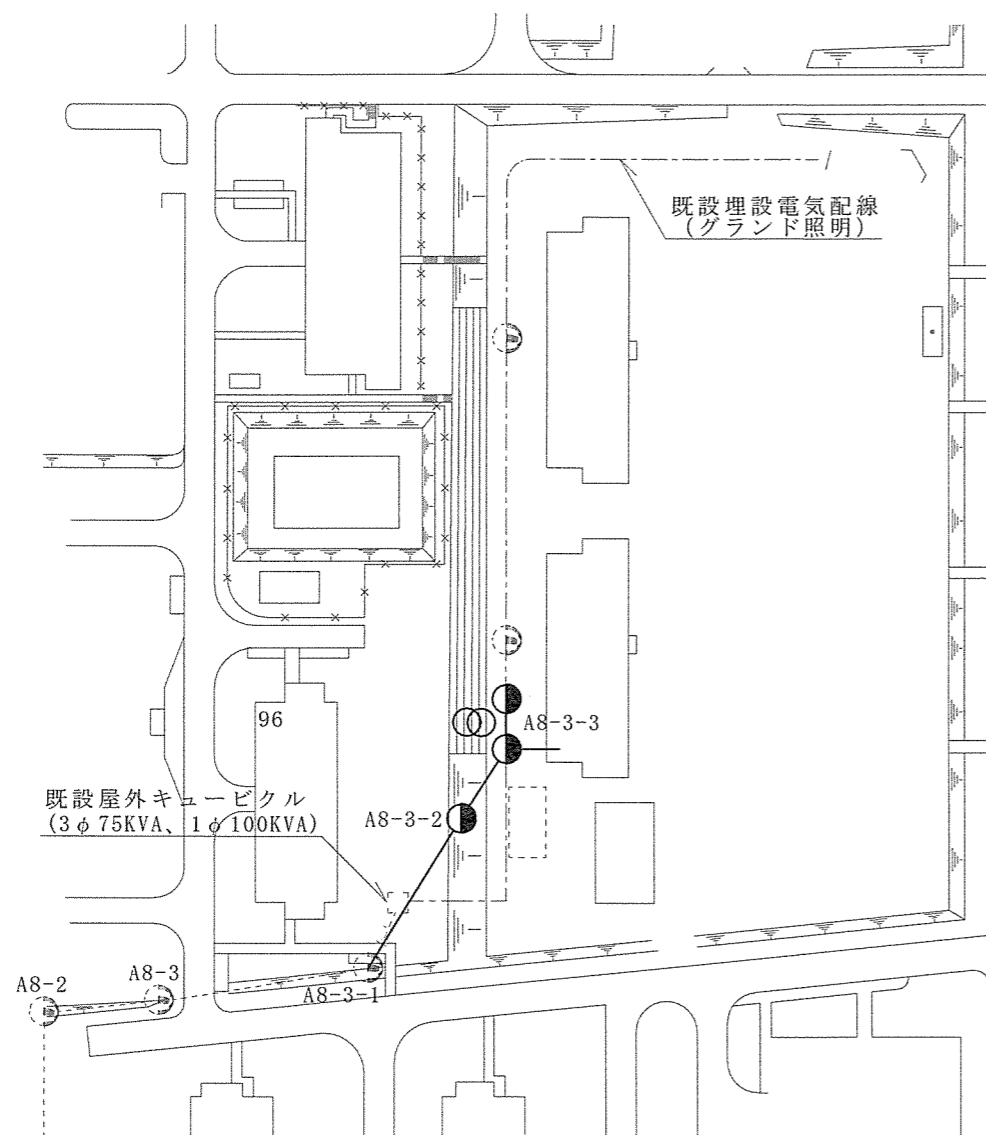
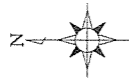
■ 凡例

⊕	コンセント	⊙	スピーカー	⊙ <sub>A</sub>	電話用アウトレット(アナログ*)
⊕ <sub>MP</sub>	屋外防水コンセント	⊙	テレビ用アウトレット	⊙	電話・システム用アウトレット(IP)
⊕ <sub>E</sub>	アース付きコンセント	☐	電話端子盤		
⊗	換気扇(コンセント含む)	☐ <sub>19</sub>	19インチラック(12U)		

■ その他

- (1) 照明設備  
必要な照度が確保できるよう照明器具を配置する。また、階段灯は3路スイッチとする。
- (2) 空調設備  
各室の空調設備は必要に応じた能力の機器を設置するものとする。  
事務室、会議室、当直室、更衣室は、冷暖房空調機を、便所・洗面所はパネルヒーターを設置する。  
なお、空調設備用コンセント及び換気扇用コンセントは図示によらず、別途設けることとする。
- (3) テレビ共聴設備  
電波を受信できる位置に地デジアンテナを設置し、各室のテレビ用アウトレットで問題なく視聴できることを確認すること。
- (4) 電話設備  
各階の電話端子盤は、壁面取付(30P)とする。
- (5) 19インチラックは壁面取付とし、内部構成は以下を基準とする。  
1階：スプライスユニット(4芯以上)・パッチパネル(24ポート)・コンセント(20A)  
2階：パッチパネル(24ポート)・コンセント(20A)  
3階：パッチパネル(48ポート)・コンセント(20A)
- (6) 各種配線、配管等  
露出配線となる部分は、メタルモール等により納まり良く仕上げること。

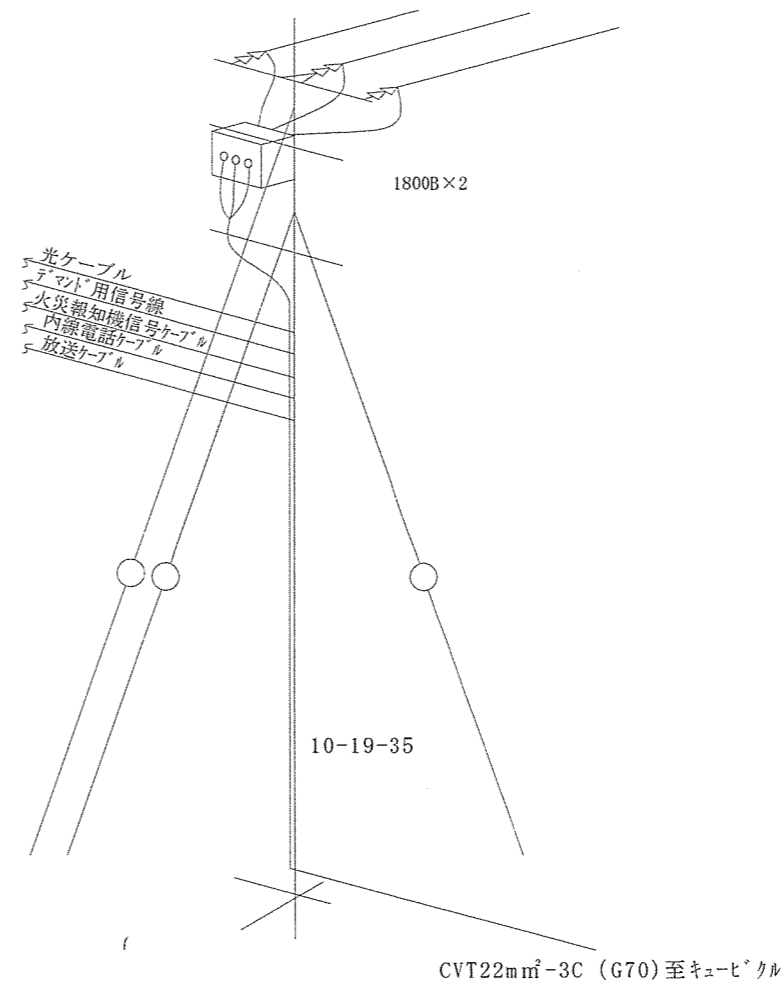
件名	仮設プレハブリース	図面番号	10/15
図名	②標準設備図(事務室)	縮尺	図示
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊		令和6年3月29日	



配置図 S = 1 : 1,500

凡例

	新設コン柱 12-19-5.0		新設変圧器		新設架空電気配線
--	-----------------	--	-------	--	----------



既設A8-3-1号柱 装柱図

凡例	
名称	記号
高圧架空電線路	—
高圧中実ピン端子	○
高圧耐振端子	▷ 及び ×
高圧ショートヒューズ	□
避雷器	○
コンクリート柱	●
変圧器	○
気中開閉器	PAS

■ 変圧器容量

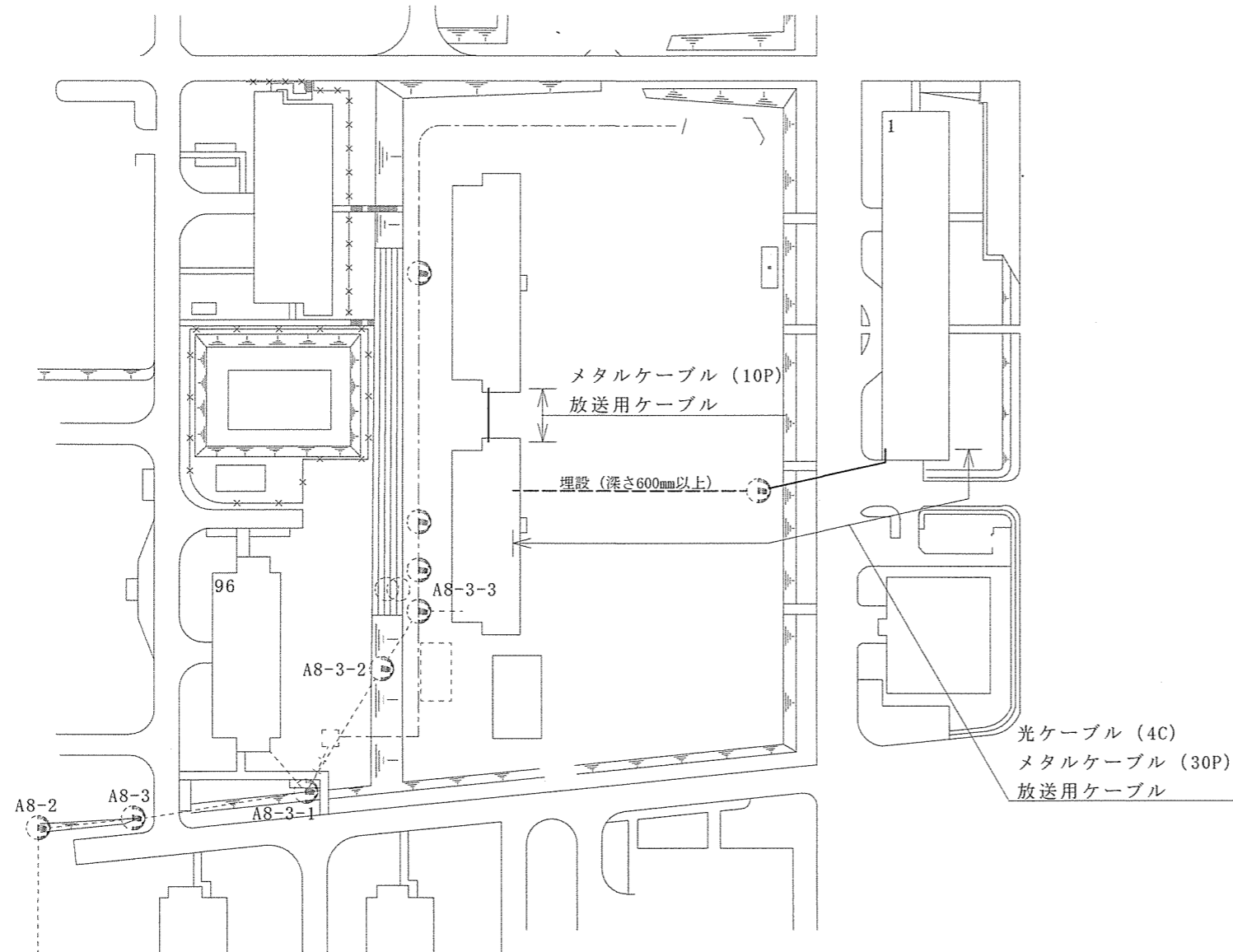
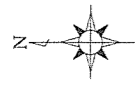
	負荷設備容量	需要率	=	68KW × 1.25	=	85KVA ≒ 100KVA
単相	135KW	50%				
3相	125KW	80%	=	100KW × 1.25	=	125KVA ≒ 150KVA

※ 上記容量は、あくまでも想定であり、設置機器等の容量により変動するため、設計により適切な容量を算出すること。

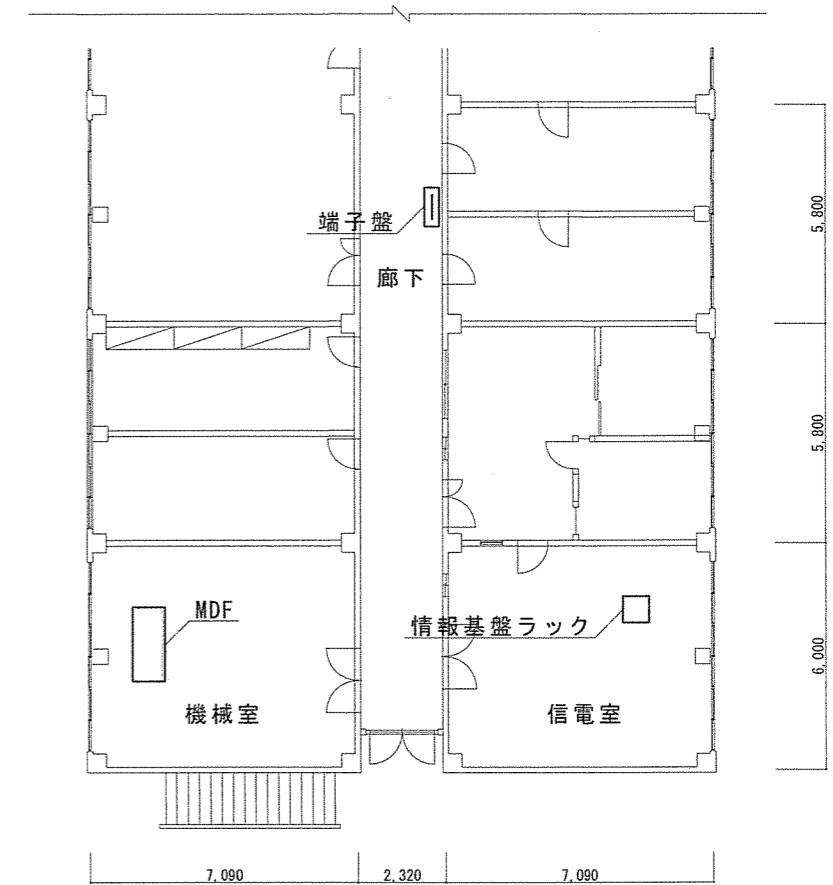
■ その他

- (1) 既設A8-3-1号柱からの引き込みの際は、必要に応じ継柱マスト等を設け、既設配線と十分に離隔を確保する。
- (2) 建柱の際は既設埋設電気配線に注意し掘削を行う。
- (3) 架空配線の施工に際し、樹木の枝が支障となる場合は請負者において枝払いを行うものとする。その際、桜の枝については、切り口に保護剤を塗布するものとする。

件名	仮設プレハブリース	図面番号	11/15
図名	標準外部設備図 (電気)	縮尺	図示
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊		令和6年3月29日	



配置図 S = 1 : 1,500

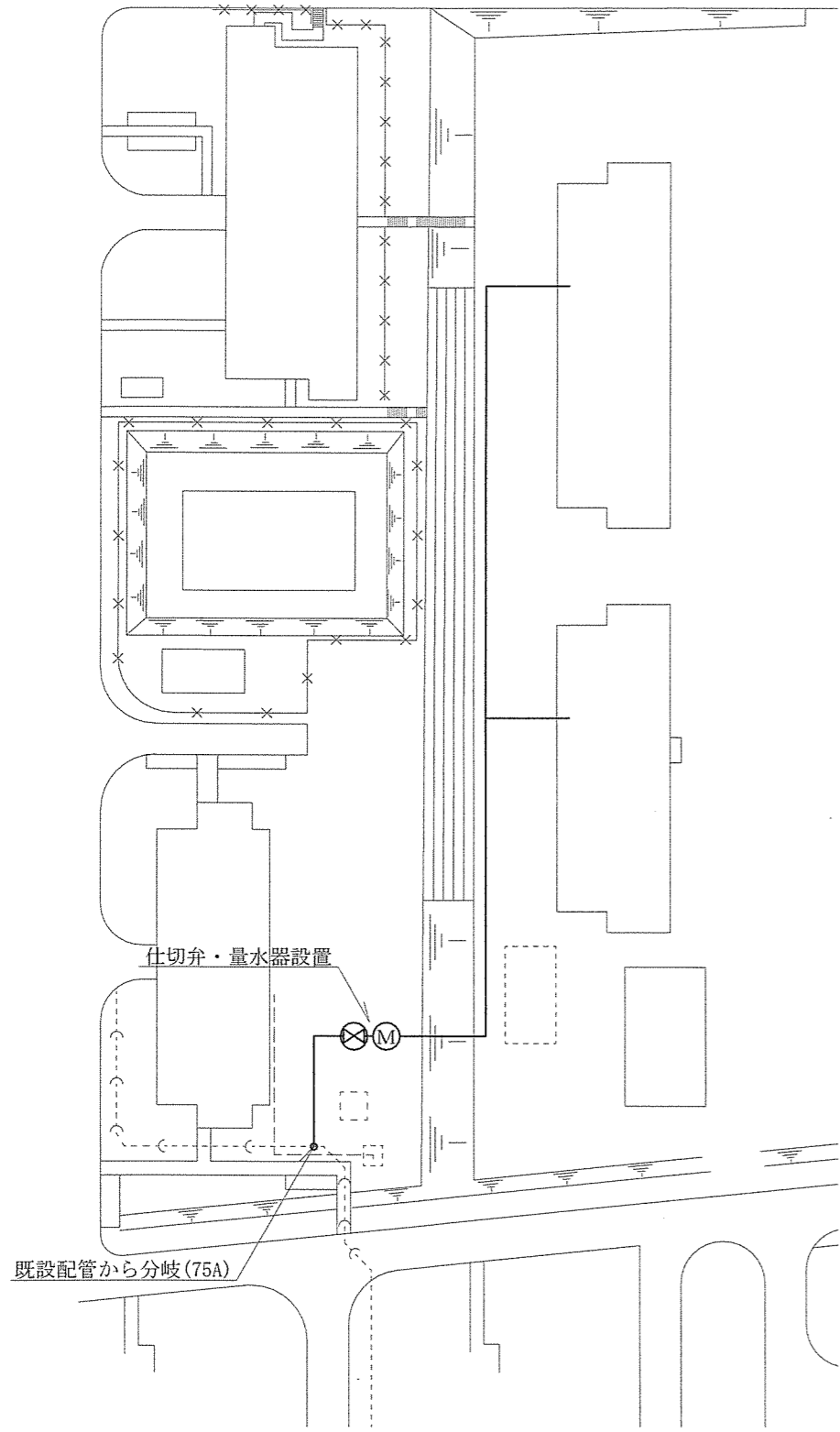
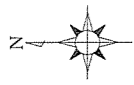


※ 機械室、信電室はラック配線、廊下は天井ころがし配線とする。

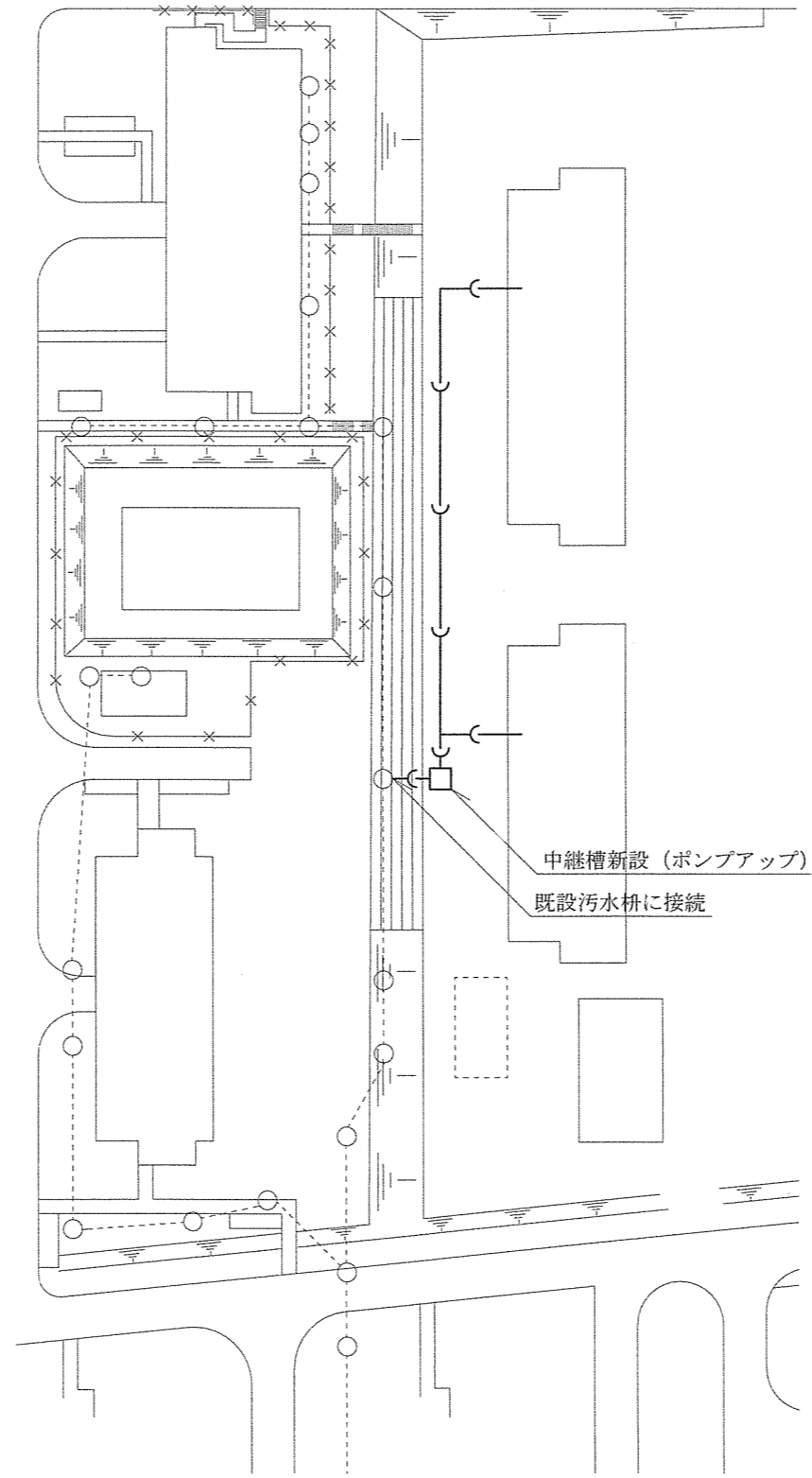
1号建物1階平面図 S = 1 : 200

- 光ケーブル  
既存建物（1号建物1階信電室）の情報基盤ラックより取り出しとする。
- メタルケーブル  
既存建物（1号建物1階機械室）のMDFより取り出しとする。
- 放送線  
既存建物（1号建物1階廊下）の端子盤の「本部隊舎1F放送」にマルチ接続とする。
- その他
  - (1) 新設架空配線は、既設1号建物外壁から既設貫通口及び腕金を使用し、グラウンド上のコン柱まで添架するものとする。なお、車道上の架空線は4.5m以上の高さを確保すること。
  - (2) 架空配線の施工に際し、樹木の枝が支障となる場合は請負者において枝払いを行うものとする。その際、桜の枝については、切り口に保護剤を塗布するものとする。
  - (3) 新設埋設配線は、深さ600mm以上の位置に配線・配管する。埋め戻しの際は、配管上部へ埋設表示シートを設置するものとする。
  - (4) プレハブ間の配線は、渡り廊下の上屋を添わせるものとする。
  - (5) 官側で実施する建物内アウトレットから先の配線は、全て「Cat6」のUTPケーブルを使用する。

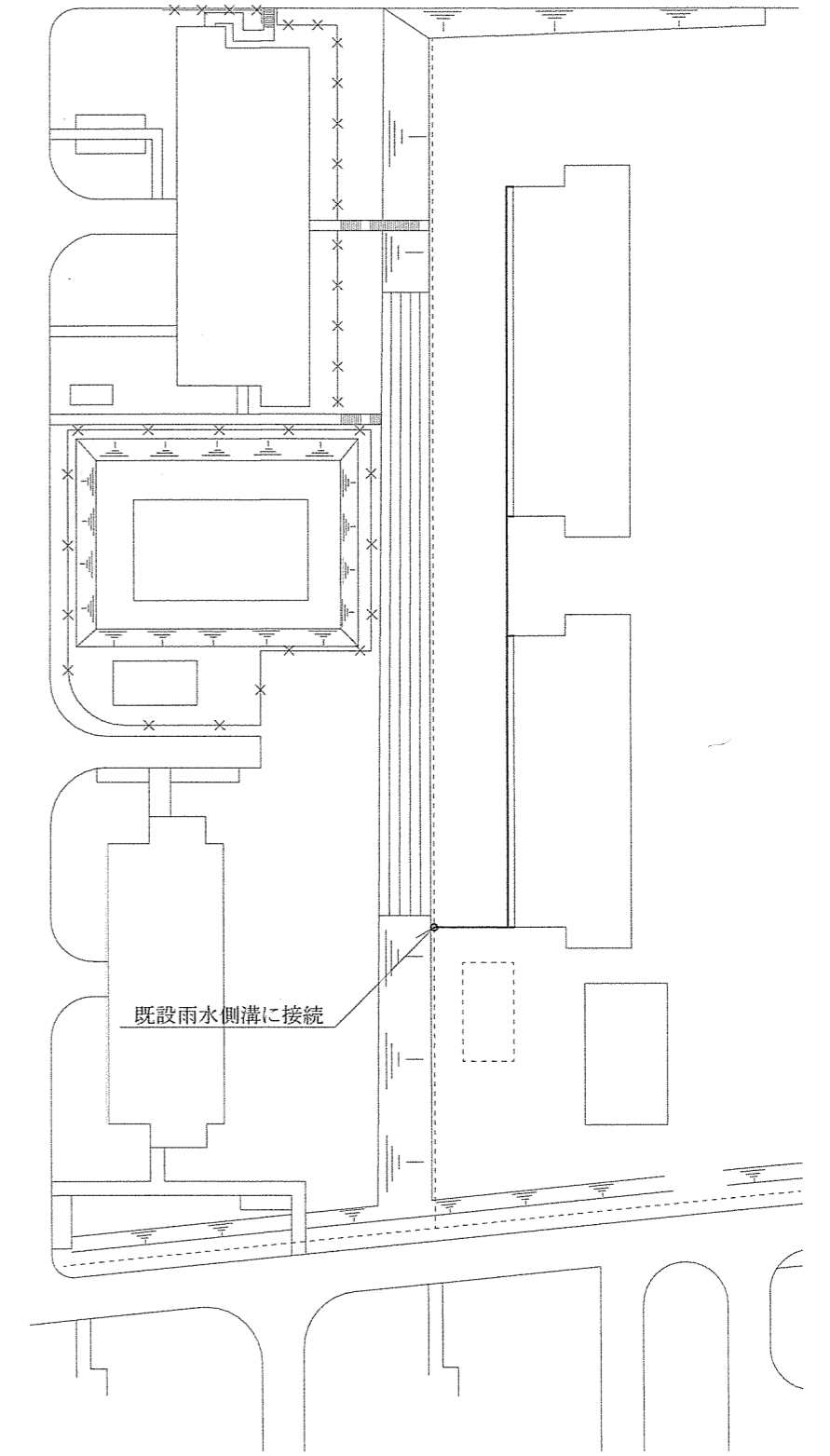
件名	仮設プレハブリース	図面番号	12/15
図名	標準外部設備図（通信） 1号建物1階平面図	縮尺	図示
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊		令和6年3月29日	



給水図 S = 1 : 1,000



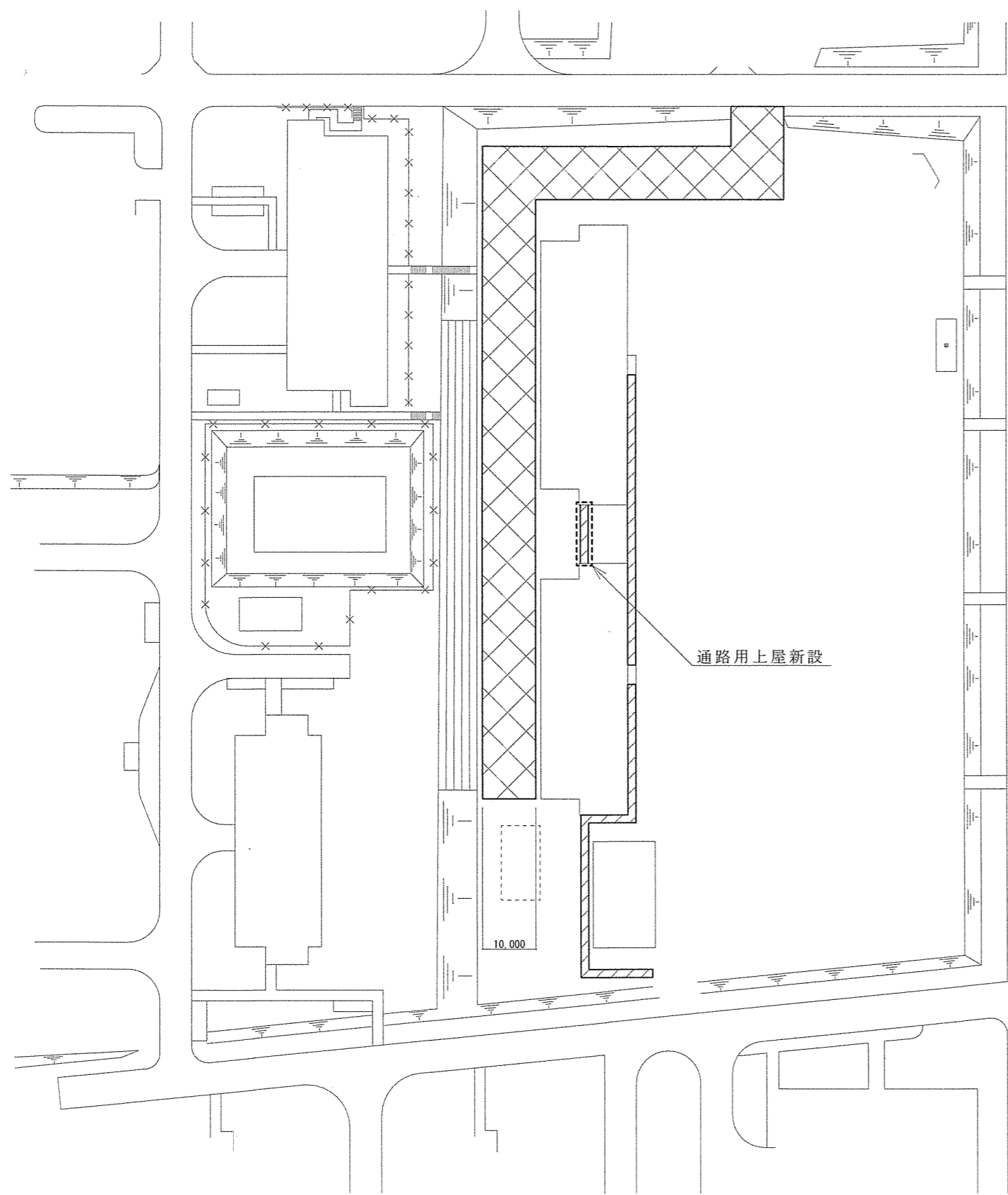
汚水図 S = 1 : 1,000



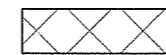
雨水図 S = 1 : 1,000

※ 車両乗り入れは、P13「標準外構図」に示す碎石舗装範囲とし、各種配管の埋設深さはそれに従い計画するものとする。

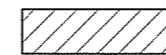
件名	仮設プレハブリース	図面番号	13/15
図名	標準外部設備図(給水・汚水・雨水)	縮尺	図示
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊		令和6年3月29日	



【 凡 例 】



: 碎石舗装 (t=100 w=10,000)



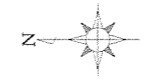
: コンクリート歩道 (t=150 w=1,500)

通路用上屋新設

10,000

件名	仮設プレハブリース	図面番号	14/15
図名	標準外構図	縮尺	1 : 1000
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊		令和6年3月29日	

# ボーリング柱状図



調査名 陸上自衛隊湯布院駐屯地仮設プレハブリース

ボーリングNo

## 事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No.1		調査位置	大分県由布市湯布院町川上941番地		北緯
発注機関	大和リース株式会社 大分支店		調査期間	令和6年1月17日 ~ 6年1月17日		東経
調査業者名	大和ワンテック株式会社 九州支店 電話(092-477-8145)		主任技師	山口 稜	現代理人	吉住章祐
孔口標高	KBM -0.04m	角	180° 上	方	北 0° 270° 西 90° 東	地盤勾配
総掘進長	5.22m	度	180° 下	方	北 0° 270° 西 90° 東	地盤勾配
試験機	東邦DO-D		ハンマー	落下用具		半自動
エンジン	TF-90M		ポンプ	BG-3C		

標尺	層厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	記	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験	掘進
									深	打撃回数	貫入量	値				
(m)	(m)	(m)	(m)	区分	調度	度	度	事	深	打撃回数	貫入量	値	深	試料採取	室内試験	掘進
									(m)	(回)	(cm)	(N)	(m)	(番号)	(方法)	(日)
1	0.40	0.40	0.40	硬土	黄褐色			層境目不明による硬土 層を多量に掘入する	1.07	5	9	24				
2				砂	黄褐色			φ2~60mmの層を主体とし 所々にφ5mm程度の火山岩を混入 する 75%は細砂~粗砂が混在し 含水量はやや多い	1.15	19	12	33	48			
3				砂	黄褐色				1.20	20	20	30	59			
4				砂	黄褐色				1.25	57	15	50	12			
5	4.82	4.82	5.22						1.25	40	10	50	12			

